

令和元年度 玉山薮川地区まちづくり懇談会 懇談事項

令和元年7月2日(水)

No	懇談事項	説明	担当部課名
1	<p>高齢化が更に進んだ際の中山間地域の交通対策について</p> <p>中山間地域ゆえ公的交通機関の便が悪く、やむなく自分で自家用車を運転して出かけていた高齢者が運転免許を返納しなければならなくなった際に、代替交通手段として考えられる対策案について、市の考えを伺いながら懇談したいと思います。</p>	<p>玉山薮川地区においては、患者輸送バスのほか、岩手県交通の玉山線・好摩直通線及びJRバスの早坂高原線が運行されており、地域の重要な交通手段となっております。これまで、岩手県交通の路線については、廃止とならないよう、地域の方々と話し合いを重ね、路線維持に取り組んでまいりました。</p> <p>こうした中、免許返納者など郊外部の交通弱者にも配慮した公共交通網の形成を図るため、「盛岡市地域公共交通網形成計画」を令和元年に策定する予定としており、その際に行ったアンケート調査等から、御当地では、支線バスなどによるアクセスの確保や、患者輸送バスへの一般利用者の混乗などが課題となっております。</p> <p>「盛岡市地域公共交通網形成計画」では、御当地など公共交通空白地区における交通手段の確保を位置づける予定であり、スクールバス・患者輸送バスの運行形態などの見直しや、公共交通空白地区を解消する移動手段の確保・導入の検討を行うこととしております。その際には、患者輸送バスの一般混乗試験運行などにより、住民のニーズを踏まえ、持続可能な交通サービスの導入による移動手段を検討してまいりたいと存じます。</p>	<p>建設部 交通政策課</p>

令和元年度 玉山藪川地区まちづくり懇談会 懇談事項

令和元年7月2日(水)

No	懇談事項	説明	担当部課名
		<p>玉山藪川地区の一人暮らしの高齢者や高齢者のみ世帯の数は増加傾向にあり、買い物や通院等への支援に対するニーズは高まるものと認識しております。</p> <p>市では、高齢者になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる地域包括支援システムの構築を目指しており、平成30年度からは、各地域包括支援センターに、生活支援コーディネーターを配置しております。地域課題を共有する地域ケア会議を活用し、高齢者の生活支援のための仕組みづくりに取り組んでいるところであり、今後においても、地域に応じた必要な支援のあり方を検討してまいります。</p> <p>患者輸送バスについて、玉山地区3路線、藪川地区3路線運行しておりますので、通院の際には御利用いただきたいと存じます。</p> <p>また、玉山地区については、岩手県交通の路線バスに繋げる連絡バスを各地区週1回運行しており、朝は各地区から玉山中学校入口バス停まで、午後は玉山中学校入口バス停から各地区に2回運行しておりますので、御利用いただきたいと存じます。</p>	<p>保健福祉部 長寿社会課</p> <p>玉山総合事務所 健康福祉課</p>

令和元年度 玉山蕨川地区まちづくり懇談会 懇談事項

令和元年7月2日(水)

No	懇談事項	説明	担当部課名
2	<p>閉校した学校等の市有施設の今後のあり方について</p> <p>閉校した小学校等の市有施設のうち、利活用されないまま老朽化が著しく進行しているところや、施設の一部しか利用されていないところが見受けられますが、市の考えを伺いながら他市町村の施設活用事例なども参考にして、閉校した学校等を含めた市有施設の今後のあり方について懇談したいと思います。</p>	<p>産業振興課で管理する施設は、「蕨川生活改善センター」と「玉山生活改善センター」の2施設であります。いずれも老朽化が激しく安全面を考慮し、利用に供さないこととし、令和2年度以降に順次解体撤去する計画としています。</p> <p>閉校した学校のうち、活用可能な施設については、旧城内小学校の屋内運動場のように、地域に貸し出したり、旧蕨川小学校や旧蕨川中学校などのように、埋蔵文化財などを保管する場所として活用したりしております。</p> <p>また、蕨川小学校亀橋分校など老朽化が著しい施設については、解体する方向で検討しているところです。</p>	<p>玉山総合事務所 産業振興課</p> <p>教育委員会 総務課</p>

令和元年度 玉山藪川地区まちづくり懇談会 懇談事項

令和元年7月2日(水)

No	懇談事項	説明	担当部課名
3	<p>地域の自然環境を活かした地域振興策について</p> <p>過疎化が進む中山間地域の人口流出に歯止めをかけるため、他市町村で実施している「山村留学」のような教育振興策で地域のにぎわいの復活を図ることができないものか、地域の自然環境を活かした地域振興策について市の考えを伺いながら懇談したいと思います。</p>	<p>玉山地域におきましては、中山間地域の振興を図るため、玉山地区では、一万本のオオヤマザクラを中心としたまつりの開催や環境整備、藪川地区では、岩洞湖家族旅行村、岩洞活性化センターを中心として、盛岡市内の専門学校の現地研修の受入れ、地元との協力により地域おこし協力隊が行っている6次産業化の推進や新たな特産品の開発など、それぞれの地域資源を活かした賑わいの創出に取り組んでおります。なお、7月から新たに着任の地域おこし協力隊の活用も一つの方策として想定しております。</p> <p>また、人口流出に歯止めをかける対策として、農業の担い手を確保するため、新規就農者に対する国の交付金制度のほか、平成29年度から、当市独自の親元就農給付金制度を創設し、支援の拡大に努めております。</p> <p>県内では葛巻町が、町の活性化を図るため、平成27年度から県立葛巻高等学校に山村留学生を受け入れており、令和元年度は、11名が入学し、高校で学びながら、酪農体験や地域の方々との交流などを行っていると同っています。</p> <p>玉山藪川地域には、高等学校がないことから、山村留学は難しいものと考えていますが、他の教育施策による地域振興について研究してまいります。</p>	<p>玉山総合事務所 産業振興課</p> <p>教育委員会 学務教職員課</p>